

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790401327		
法人名	(株)ゆうやけ介護		
事業所名	看護小規模多機能ゆうやけの家		
所在地	〒971-8124 いわき市小名浜住吉字浜宿23		
自己評価作成日	令和6年3月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	項 目	取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	☐ 1. ほぼ全ての利用者の2/3くらい 2. 利用者の1/3くらい 3. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	☐ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	☐ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	☐ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	☐ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	☐ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	☐ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	☐ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	☐ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	☐ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	☐ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	☐ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	☐ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

いわき市小名浜の中間に位置し6号バスからのアクセスが良く閑静な住宅街に位置する。
令和3年12月より小規模多機能から看護小規模多機能に運営方針を転換し、ゆうやけの家理念にある「私達はあなただけの声を大切に聞きます。私達はあなただけの思いを心で受け止めます。私達はあなただけの生活に希望と生きがいを持たせる様に支援します。」を念頭に医療ニーズのある方、様々な状態・病状の方々の在宅医療の支援とともにご家族様を含めた総合的な支援を行っている。また、状況に合わせ柔軟なサービス、十分な感染防止対策を実施し提供している。
感染症等の有事の際にサービス提供が止まることなく継続出来るよう、感染対策委員会を中心に情報共有をし育成・訓練を計画しております。(職員内部研修・職員外部研修・オンライン研修等を通し知識や技術の向上に努め全職員でサービスの質の向上に努めている。)

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

全体に見える場所に看護小規模多機能ゆうやけの家の理念を掲示し、理念を念頭に運営していることが伺えた。また、身体拘束排除宣言や各種委員会等の設置の整備も進んでいる。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己評価		外部評価	
項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営			
1	(1) ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	誰もがみえる場所にゆうやけの家理念を掲示し、日頃から理念を共有し実践し活かしている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない
2	(2) ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として近所づきあいや地元の活動、地域住民との交流に積極的に取り組んでいる。	コロナ感染防止により、近隣住民や各会議などを自棄していたため活動が出来なかったが、地元の活動・交流の一端として地域清掃を年二回程度また、住吉神社でのお祭りなどで行う子供神輿の休憩場所としてゆうやけの家駐車場の提供もしている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない
3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナ感染防止により、実践を通じた認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に向けて活かすことが現在のところ出来ない。	
4	(3) ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている。	コロナ感染防止により、対面での開催は出来ていない。資料を配布し意見・要望・助言等をいただける体制を整えたとともに常にサービスの質の向上に努めている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない
5	(4) ○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	ご家族様からの要望等、事業所での判断が難しい場合には介護保険課に相談させていただいている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない
6	(5) ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	看護小規模多機能ゆうやけの家は、身体拘束排除宣言施設として運営しております。様々な身体拘束をしないケアを施設内で検討し、情報共有をしております。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない
7	福-1 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払いい、防止に努めている	日頃から、接遇の共有等を行っております。また、線職員に向けて高齢者虐待防止関連の研修を適宜行っており、虐待が見逃ごされないように注意を払い防止に努めています。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない

		自己評価		外部評価	
自己	外部	項目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員は権利擁護を学ぶ機会を確保し、内部・外部の研修等があれば参加し全体ミーティング等で他職員へ情報共有をしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始前に各サービスの趣旨・特徴、利用者様やご家族様の不安や疑問点を整理し十分に説明し理解を得て契約している。また、改定時も同様にしその都度、対応し理解を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ送せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、ご家族様の要望等を適宜聞き取りを行っている。意見箱だけではなく、面会時など様々な時間を設けご家族様に対し苦情や不満等の聞き取りを行っている。	運営推進会議における評価 A 十分にできている B ほぼ出来ている C あまりできていない D ほとんどできていない	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や管理についての職員の声に耳を傾け、活かしていくことを心がけ、職員の働く意欲の向上や質の確保を図っている。	管理者は毎月ミーティングを行い職員の意見を聞く機会を確保し、それ以外でも意見や要望等の聞き取りを日頃から行っている。	運営推進会議における評価 A 十分にできている B ほぼ出来ている C あまりできていない D ほとんどできていない	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、個別面談や全体ミーティング等を活用し職員の生の声を客観的に聴いている。聞き取り後、客観的に感じた事を検討し運営のアドバイスをしている。		
13	指-2	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	オンライン研修が充実してきた昨今、オンライン外部研修を取り入れ職員の育成に取り組んでいる。同様に内部研修の機会を増やし、知識・技術の向上を図りたい。	運営推進会議における評価 A 十分にできている B ほぼ出来ている C あまりできていない D ほとんどできていない	
14		代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福島県介護福祉多機能連携協議会に所属し、定期的な研修等に参加している。また、管理者は官民連携プロジェクト【なんとかすっぺ いわきの介護研究会2023】に参加し交流の機会を確保しながらサービスの確保に取り組んでいる。		

自己 評価	外部 評価	項目	自己評価	外部評価
			実践状況	実践状況
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりを努めている	サービス開始前に十分な時間や聞き取りを行い、ご利用者様・ご家族様の不安や要望に耳を傾けながら傾聴している。その場限りではなく、定期的に場を設けて信頼関係を築けるように努めている。	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族等との信頼関係構築は、送迎時や面会時に職員がご家族様に対して日々の状態報告や経過などを説明して信頼関係を築けるようにしている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談員等からいただける情報を基本に既往歴や現在の状況などを鑑み、カンファレンスを行っている。また、早期に課題点を見つけられるように担当者会議を適宜行っている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者様から、仕事内容などの知識のご教授をいただき、残存機能を発揮するように職員と一緒に楽しく生活していけたかのようにしている。	
19		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の携わりを念頭に置き、定期受診や外出等を利用し、関係づくりを築けるようにしている。	
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来るだけ要望に応える様にしてはいるが、コロナ感染防止に理解をいただいて外出の制限がありました。そのため、全ての要望には応えられていない。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事時間や入浴時間等は、ご利用者様と職員の貴重な共有の時間とさせていたが、関係性が不安なご利用者様は距離を置き、職員がすぐ対応できるようにトラブル回避に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項目		次のステップに向けて期待したい内容
		自己評価 実践状況	外部評価 実践状況	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ゆうやけの家のサービスの終了してもご家族様との関係性を良好にするため、相談していただけるように対応している。また、他事業所様への情報提供はしっかりと対応できるように努めている。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、関係者で本人の視点に立って意見を出し合い、話し合っていく取組を心がけている。	利用者様の思いや希望などをお茶や入浴時間などを利用し、意向の把握に努めている。その時々々の思いや希望を確認しながらご利用者様本位の暮らしができるように取り組んでいる。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サービス開始前に十分な時間や聞き取りを行い、ご利用者様・ご家族様の不安や要望に耳を傾けながら傾聴している。その場限りではなく、定期的に場を設けて信頼関係を築けるように努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	様々な角度から総合的に把握するため、施設・職員全体で情報共有をし把握に努めている。	
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃からの生活を職員間で共有しながら担当者会議を行い介護支援専門員が計画を作成している。また、ご家族様や関係者(医療機関含む)等を含めて話し合いを持ち、その都度見直しをしている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日頃の生活を記録し、それを基に看護・介護計画の見直しを行っている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々々のニーズに出来るだけ対応できる体制を整え、柔軟な支援やサービスの多機能化を検討している。	

自己 外部	項 目	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況		次のステップに向けて期待したい内容
29	○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ感染防止のため、地域の小学校や中学校の福祉体験等の受け入れはまだできてはいない状態だが、地区のお祭りへの参加や利用者様と一緒に地域清掃を実施している。			
30	(11) ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご利用者様・ご家族様が信頼できるかかりつけ病院に受診できるように支援している。看護師よりご家族様へ状態・経過報告をし、主治医にも同様にお伝えし適切な医療が受けられるようにしている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		
31	○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	記録を参照し看護師より介護師へ指示や説明をお互いに情報共有を大事にしている。また、主治医との連携もうまくこれ看護・介護の統一化が来ている。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医・協力医療機関・介護支援専門員・看護師・介護師の連携によりスムーズに入院や退院が進められるようにしている。			
33	(12) ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	状態の変化や重度化した場合、ご家族様に状態の説明を行い主治医との連携強化に努めている。利用者様・ご家族様のご意向を尊重した支援策定をし安心していただけた対応に努めている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時は、看護師への報告・応急手当等をすばやく出来るような対応をしている。また、定期的に訓練を行うようにしていきたい。			
35	(13) ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回の防災避難訓練の実施、地域の消防団や小名浜消防署職員立ち合いの元で行っている。助言をいただき、有事の際の対応などを全職員で共有している。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		

自己 外部	項 目	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14) ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ご利用者様の尊厳・プライバシー等が尊重されるように接遇対応は日頃から共有している。 また、個人情報情報の取り扱いには最新の注意を払い、守秘義務も徹底している。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		
37	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様の意思やご希望を表現しやすく出来るように伝わりやすい言葉使い等を使用し説明している。様々な日頃の生活の中で自己決定ができるように支援している。			
38	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者様には一日の個人的なリズム作りを職員と一緒に考えております。施設・職員の一方向的な支援にならないように心がけている。			
39	○身だしなみやおしやれの支援 その人らしい身だしなみやおしやれができるように支援している	訪問理美容を利用し、身だしなみを整えている。また、イベントとして女性ご利用者様にはお化粧の日を開催し、おしやれを楽しめるように支援している。			
40	(15) ○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている。	ご利用者様には、好みの食材や嗜好品の聞き取りを行い、提供するお食事を用意から片付けまでを職員と一緒に楽しみながら対応している。また、定期的なイベントを開催し季節に応じたお料理の提供をしている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	医師からの指示でカロリー制限や水分制限がある方にも、状態を鑑み支援している。毎日の摂取量や排泄回数などを確認し健康管理に努めている。			
42	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアは必ず職員が声掛けをし、一人ひとりの口腔内の清潔保持に努めている。また、ご利用者様によっては口腔ケア用トワイッシュや口腔ブラシを使用している。			

自己 外部	項目	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16) ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ご利用者様の状態を鑑み、時間でのトイレ誘導や個人毎の排泄パターンを観察し自立に向けた支援を行っている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		
44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	看護師を中心に機能訓練を取り入れ下剤だけに頼らない排便コントロールをしている。コントロールが難しいご利用者様は主治医に相談し下剤の変更等をし調整している。			
45	(17) ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴の回数や入浴タイミングはご利用者様のご希望に沿って対応している。入浴拒否のあるご利用者様には言葉をうまく使い誘導し、イベント浴として季節を感じて楽しんでいただくようにしている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	既往により体温調整が難しいご利用者様は、職員が都度訪室し安眠できるように支援している。施設内・居室内の温度・湿度も同様。			
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者様毎の服薬チェック表を作成している。また、服薬時にはダブルチェックを行い誤薬予防に努め、薬剤変更時は職員で共有し支援している。			
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご利用者様個人毎の心身状態を鑑み、現在できることを把握し余暇時間の充実化を図り支援している。			
49	(18) ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ感染予防のため外出・買い物レクリエーションは行えておりませんが日光浴や散歩等、体調を鑑み施設外に出られる支援をしている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		

自己 外部	項 目	自己評価		外部評価	
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望やカにに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	トラブル防止のため、ご利用者様にお金を所持していただくことはご遠慮していただいております。ご要望があれば施設で購入するなど適宜対応しております。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	特に制限なく、ご利用者様のご希望通りにやり取りをしていただいております。			
52	(19) ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間はローカルカーテンを使用し採光調整をしております。ご利用者様にとって安心して生活出来る環境を提供出来るように検討し支援を行っている。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		
53	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者様のお好きな場所に定置していただき、ご利用者様毎のご希望で様々な空間を作るよう支援しております。			
54	(20) ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている。(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている。	ご利用者様の過ごしやすい環境にするため、ベッドの高低や家具の位置等はご利用者様・ご家族様に聞き取りを行い思い思いの空間にできるように検討し支援している。	運営推進会議における評価 A.十分にできている B.ほぼ出来ている C.あまりできていない D.ほとんどできていない		
55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」がわかることを活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ご利用者様のADL低下を防止するため、機能訓練や洗濯物量み・新聞折りなどを様々な角度から自立につながることを探すよう支援している。			